

09 ひきのこしやま
引ノ越山 (267m)

域 青森市近郊

2008年4月20日

[参加者名] CL Y.NARA 他 15 名
[コースタイム] 合浦公園駐車場8:00→登山口8:50→第一作業道出合 9:00→
第二作業道出合 9:20→山頂 9:55~10:10→第二作業道出合 10:25→
第一作業道出 10:35→登山口 11:05

[登山口までのアプローチ、登山口の様子]

国道4号線マックスバリュー平内店を過ぎて直ぐに右折、道なりに内童子に向かう。老人ホームを過ぎると道は小湊川と併走。引ノ越山は目の前に見えてくる。引ノ越山手前の橋を渡ると駐車できる広場がある。広場左は水田・右奥が杉林で林の入り口が登山口になっているがここは私有地となっている。

[山行記録]

晴天、桜祭り前に花が咲きそろい華やいた風景の朝の合浦公園駐車場を4台の車に分乗して出発。浅虫道の駅でトイレ休憩。マックスバリュー平内店を右折して内童子地区向かう。しばらく走ると前方に奇異な姿の引ノ越山が目に見え込んでくる。1962年頃から80年頃まで山の西側は砕石業者に削り取られ続け、町有地である東側が砕石から免れて残ったのが現在の山の姿。砕石以前の引ノ越山はとても形が良く内童子地区のシンボリック的存在だったそうです。CLから「ストックは邪魔になるので持たないほうがよい」とアドバ



イス有り。登山口となる杉林入り口には「立入り禁止 林内にある生物は一切採取固くお断りする 山主」のたて看板あり①。心しておじゃまさせてもらう。林内にはイチゲ・カタクリ・エンレイソウなどの花があちこちに見られる。林をぬけると不安定な石がごろごろしている急斜面になり、そこを緊張しながら慎重に足を運びと間もなく作業道に登りつく。難関を一つクリアしてほっと一息、休憩タイム。次もまた同じような石まじりの斜面で、再びの難関を登りつめるとまた作業道に出合う。おだやかな

な天気休憩タイムの会話も和やかにはずむ。次は山頂につづく尾根に取り付くために斜面を登る。尾根に取り付くと登山道らしき踏み後がついているが右側は切り落ちる岩場・左側は雑木の急斜面なので要注意で、山頂直下の急坂も木につかまりながら登る。山頂部②は狭いので記念写真を撮るのも気を使いながらでした。独立峰なので眺めがよく、夜越山・鍋森山・野辺地烏帽子岳・水ヶ沢山など周囲の山々が一



望できた。帰路は第一作業道までは往路を、その先は草木が生えて廃道と化した作業道(カモシカのフンがたぐさんあった)を採掘現場だった方におりてみた。③ 切り立った採掘後の岩場を下から見あげて元の山容を想像してみたが……。再び林中にはいって登山口へ向かう。一面にミズバショウの咲いている場所があり、そこ一角が明るくぱっと輝いていて別世界のようでした。思いのほか豊かな林で、山主が大事に管理していることを実感しました。

報告 H.HARATA

10 みずがさわやま 水ヶ沢山 (323m)

地域 青森市近郊

2008年4月20日

[参加者名] CL Y.NARA 他15名
[コースタイム] 駐車帯広場 11:40→東北電力水ヶ沢中継所アンテナ 12:15(昼食)12:50→山頂
13:17~13:22→東北電力水ヶ沢中継所アンテナ 13:40→駐車帯広場 14:15

[登山口までのアプローチ、登山口の様子]

国道4号線平内町山口地区をJR西平内駅方向に左折。駅へは集落中程を右折するが駅には向かわずに住宅街をそのまま進む。T字路で左折すると墓地がある。墓地を過ぎたら水田の中に真直ぐにのびている農道を進む農道終点から左折して林の中を進むと東北電力水ヶ沢中継所アンテナに続く広い林道にでる。林道に駐車スペースがある。アンテナがたつ広場まで車で行けるがこの先は徒歩とする。



①東北電力水ヶ沢中継所アンテナ



[山行記録]

引ノ越山下山後マックスバリュー平内店でトイレ休憩、水ヶ沢山へと向かう。農道にはそろそろ田植えシーズンをおかえる農家の方の軽トラックがあちこちに駐車しているので徐行。好天のもと広々とした水田での作業風景はのどかで「平和」そのもの。在りし日の自分の父の姿とも重なりなつかしく感じた。最近国内の食糧事情を深く考えさせられた事

②登山口

件が続いたこともあり、目にしている風景がとても大事なものに思えた。正面の山の中腹に白くポツンと見えるのが東北電力水ヶ沢中継所アンテナ。農道を過ぎ林をぬけると赤い矢印があり駐車スペースがある。車を降りて林道を歩きはじめる頃には太陽がサンサンとふりそそぎ暑さにバテ気味。山をひとつ登り終えた後



③山頂への標識

であるのに加えそろそろお腹の虫が騒ぎ出したせいもあるのか、林道歩きが予想以上に長く感じられたのは私だけではなさそうでした。それでも若葉の木々や花・ミズバショウの群落・遅咲きのイワナシの花を楽しみながらおしゃべりを楽しみアンテナ塔前広場に



④山頂

着く①。昼食も楽しく。登山口は塔を少し下りた所に小さな案内板②がある。登りはじめは少し急だがすぐに緩やかになる。春の草花があちこちに見られ、山頂への標識がある場所付近では数株のシュンランが咲いていて各々撮影していた。山頂への標識③に従って右折すると間もなく視界が開けて漁業無線アンテナと一等三角点がある山頂に到着④。山頂北側からは陸奥湾を臨むことができる。帰路は三角点右の笹藪を分けて周遊コースとなっている道を東北電力水ヶ沢中継所アンテナ右に下る。下りは林道歩きも楽しく車まで戻る。青森市内では気温 22℃を記録したほどの好天に恵まれた初夏のようなこの日、引ノ越山・水ヶ沢山と二山を登り終えることができ満足の日でした。解散予定場所の合浦公園駐車場は満開の桜見物にくりだした人の車で国道から渋滞していて駐車場に入るのを諦め、連絡を取り合いながらそのまま解散。

提出者 H.HARATA